

科目区分	専門分野	授業科目	総合看護技術演習Ⅲ
講師名	平田 洋子	開講年次	3年次 第1学期
単位数(時間)	1単位(30時間)		
授業概要 *講師からのメッセージ	臨床現場を想定し複数患者の優先度や時間管理、チームメンバーとの連携などの実践力を身につけてほしい		
<p>目的：臨床現場を想定した課題に既習学習の知識・技術を統合して実践力の基礎を身につける</p> <p>目標：1. 複数患者受け持ちにおける優先順位・時間配分を考慮した援助を考える</p> <p>2. 対象に安全・安楽に配慮した援助が実施できる</p> <p>3. 看護実践中に起こった突発的事態に対して、対処方法の必要性を理解する</p> <p>4. チームメンバーと連携しながら状況を判断し援助が実施できる</p>			
回	授 業 内 容		
1	1. オリエンテーション 複数患者の事例説明		
2・3 【演習】	1. 点滴静脈注射の管理 2. 輸液ポンプの実施 1) 取り扱い方法 2) 輸液ポンプの管理		
4	1. 看護実践中の突発的事態の対処方法 1) 優先度の判断 2) 時間管理		
5・6 【グループワーク】	1. 看護実践中の突発的事態の対処方法 1) 優先度の判断 2) 時間管理 3) 安全安楽な援助・医療安全 4) チームメンバーとの連携・協働		
7・8 【演習】	時間が切迫する中での責任感に基づいた看護実践(実践発表) 1) セルフモニタリング 2) 自己能力の判断 3) 予期しない患者の反応への予測と対処方法の選択 4) 突発的な事態への対処 5) チームの一員として連絡・相談・報告 6) 看護師としての責任		
9	評価		
10	複数患者受け持ち時の一日の業務計画の立案 1) 優先度の判断 2) 時間管理		
11・12 【グループワーク】	複数患者受け持ち時の一日の業務計画の検討 1) 優先度の判断 2) 時間管理 3) 安全安楽な援助・医療安全 4) チームメンバーとの連携・協働		
13・14 【演習】	時間が切迫する中での責任感に基づいた看護実践(実践発表) 1) セルフモニタリング 2) 自己能力の判断 3) 予期しない患者の反応への予測と対処方法の選択 4) 突発的な事態への対処 5) チームの一員として連絡・相談・報告 6) 看護師としての責任		
15	評価 まとめ		
授業方法	グループワーク、演習		
評価方法	レポート課題( )%、筆記試験( )%		
テキスト	各基礎看護技術や演習で活用した資料やテキスト		
備考			